

広島県の地震

2025（令和7）年3月

目次

広島県及びその周辺の地震活動…………… 1

震央分布図・断面図と地震概況

地震メモ 第244回…………… 2

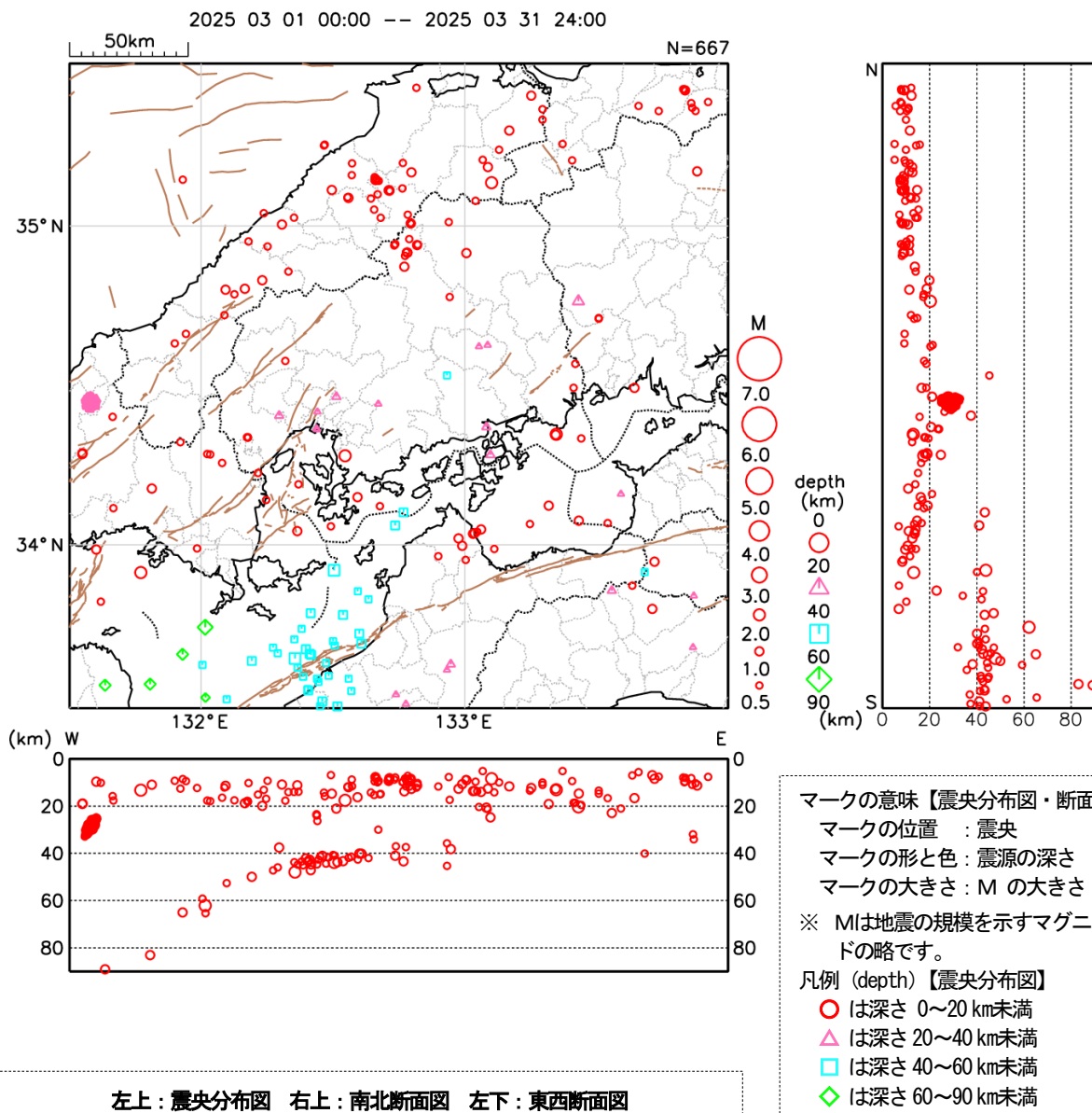
地震情報の流れ

広島地方気象台

広島県及びその周辺の地震活動

【震央分布図・断面図】

2025 年 3 月 1 日～3 月 31 日



左上：震央分布図 右上：南北断面図 左下：東西断面図

- ※ 震央分布図とは、震源直上の地表面での位置を表示した図です（震源とは地球内部で岩石破壊が始まった地点で、一般的には深さがあります）。
- ※ 図中の茶線は地震調査研究推進本部 による活断層を表しています。
- ※ 図の右上の” N” は図の範囲内における地震の回数です。

【地震概況】

この期間、広島県内で震度 1 以上を観測した地震はありませんでした（先月は 2 回）。

気象庁では、東京と大阪で全国の地震活動を、体を感じない地震も含めて 24 時間体制で監視しています。そして、震度 1 以上の地震を観測したときには、震源や震度の情報を発表します。図は、津波警報等の発表がない場合の地震情報の流れです。

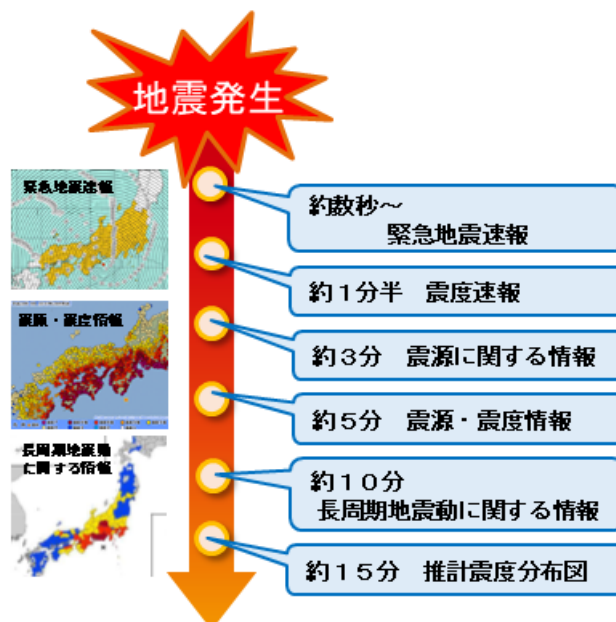
全国で最大震度 5 弱以上や長周期地震動階級 3 以上（令和 5 年 2 月から緊急地震速報の発表基準に追加）が予想されると、素早く身の安全を確保いただくことを目的に、地震発生約数秒から緊急地震速報を発表します。

そして震度 3 以上の地震を観測した場合は、約 1 分半で震度速報として、観測された地域名を発表します。たとえば、島根県では、「島根県東部」、「島根県西部」、「隠岐」となります。この情報は地域における防災対応のトリガーとなります。

その後、震源や規模が判明し、津波の有無を判断します。津波による災害のおそれがない場合は、「津波の心配がない」、または、「若干の海面変動があるかもしれないが被害の心配はない」旨を付加して、地震の発生場所（震源）や規模（マグニチュード）を速報する震源に関する情報を約 3 分で発表します。津波による災害のおそれがある場合は、津波警報等を発表します。

その後、震度 3 以上を観測した市町村と、震度 1 以上を観測した全ての地点と震度をお知らせする震源・震度情報を約 5 分で発表します。震度 5 弱以上と考えられる地域で、何らかの理由で震度データが届かない観測地点があると、その市町村・地点名を発表し、大きな揺れの可能性があることをお知らせします。なお、震度 2 以下の地震の場合は、震源・震度情報が最初の情報となります。

その後、長周期地震動が観測された場合は約 10 分で長周期地震動に関する情報を発表します。また、最大震度 5 弱以上が観測された場合は、震度計のない場所も含めて推計震度 4 以上と考えられる地域を面的にお知らせする推計震度分布図を約 15 分で発表します。



○ 気象庁の発表する地震津波に関する警報・情報などを説明したパンフレットです。
パンフレット「地震と津波」

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/jishintsunami/index.html>

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

なお、本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、後日再調査のうえ、修正されることがあります。

広島県の地震に関する問い合わせ先

〒730 - 0012

広島市中区上八丁堀 6 - 30 広島合同庁舎 4 号館 14 階

広島地方気象台 防災管理官室 TEL : 082 - 223 - 3965